常磐毎日新聞
日刊
九月一日夕刊
定價 一部金貳錢 一ケ月金五拾錢 郵税五厘
廣告料普通一行五拾錢、場所指定一行七拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人 坂本忠治
福島縣平・長橋町三五
發行所 常磐毎日新聞社 電話 六三〇番
印刷所 常磐毎日印刷株式會社
（振替口座）東京 四〇二〇番

天氣豫報
今晩は北の風曇驟雨模様
明日は南東の風晴後曇驟雨模様

颱風の空爆！
今年は天界までが暴支膺懲の方針か
支那海を渡つて大陸へ

平穏な二百十日

事變で暦も忘れがちながらけふはもう九月一日だ、そして二百十日と震災記念日、小名濱測候所の打診によるとことしは南の海にも颱風の卵すらなく奥羽北海道地方に雨が降るだけで内地、朝鮮、臺灣まで全國的に平穏無事な二百十日だといふ、ことしの颱風は例年の逆で初め支那へ上陸し八月から九月に日本を襲ふ定石を破り七月末の第一陣がいきなりその後の第二、第三軍は何れも支那海を渡つて大陸を空爆してゐる天界までが今年は暴支膺懲の方針らしく、九月の聲とゝもに爽涼の秋風が吹き初める見込みとのこと

今秋の農作物は先づ以て一安心

（別項）案じられた二百十日も平隱無事に過ぎて農家は安緒の胸を撫で下したがさて今秋の農作物はどんな收獲を見るか縣農試石城分場矢ケ崎技師にその豫想を訊いてみた、連日の旱天續きで農家も悲鳴をあげてゐるが稻作の方は部分的に苞虫の發生を見た位で大した害もなく灌漑用水の便もあるので水には不足してゐるものゝ大したことはない今のところ大豐作とは云へ難いが先づ例年に比すると豐作と云つてよからう、たゞ畑作の方は大根白菜等の播種期に濕りがなかつたので成育に非常な支障を來し丹念に水を運んで施したりした人もあるが兎に角旱天から來た不作は免れないだらう

稻刈の走り
變り種が結實

縣農試石城分場では昨年試驗田に植えた愛國二十號の中から極早生の變り種を發見したので今年これを試作してみたところ同種は早くも結實し來る五、六日頃には刈取られるに至つたので係員も一驚してゐるがこの變質的早生種は在來の早稻種よりも約二十日以上一ケ月位早く今後改良の如何によつては優良超早生種として一般に普及すると係員一同目下研究に腐心してゐる

過去帳にのる寸前で助かる
失踪の宣告を取下げ
渡米活躍中

既報鹿島村大字下矢田字前原五一園部花代さんは養兄の園部嘉茂氏が今か何等の消息なく所在が不明であるとて先般平區裁判所に失踪の宣言を申立不在者は八月三十一日迄に生存の屆出をせよ若し屆出がなかつた場合は失踪の宣告をする又不在者の生死を知る者は右期日迄に其の屆出を爲すべしと公示催告すると共に官報に公告した處其後緣成に當る鈴木重孝、園部與四郎の兩氏から嘉茂氏は目下アメリカで商業に活躍中で私共へは頻繁に便りがありますとその手紙を添へて申立たので生存を確認され花代さんも申立を取下げた、これで嘉茂氏もあはや！死亡同樣に扱はれる處をその直前で免れたわけである

初筆は小野町長
國防後援會に一千圓

既報過般結成された小名濱町の國防後援會は平市と同樣一萬圓を目標に軍人遺家族慰問費の募集に着手したが町長小野晋平氏は初筆に一千圓を寄附した

木炭販賣統制協議

濱三郡木炭同業組合は今一日午前十時から平市團體事務所で販賣統制協議會を開いたが山林課から技手の星主事補が臨席した

蟇口を盗む　茨城

茨城縣西茨城郡岩間町生れ前科三犯町田元（二六）は去る三十日内郷村御臺境農綫川顯司さん方から一圓八十一錢在中の蟇口一ケを盗んで平署に檢擧された

各校の級長　市内

市内第一第二の兩小學校は明二日第三第四の兩小學校は來る六日各第二學期間に於ける各學年の正副級長を任命する

平市甲種合格者
抽籤が昨日決定

平市に於ける今年度壯丁甲種合格者の抽籤は既報の如く昨三十一日福島市公會堂で行はれ兵科は左の如く決定された

△歩兵—一〇七高田五郎、二四大橋義勇、二七鈴木志郎、七六作山友則、七九篠崎善平、八一齋藤武雄、一六八佐々木正己、一七六大崎降弘、二二六阿部重雄、二三二吉田正夫、一七九海老根忠雄、一九九佐藤直治、一八六松原行雄、一八〇高木銀利、一五六神谷忠雄一四九川上茂雄、一五三長谷川留三郎、二九秋山正一、八加藤武久一一四中井清登、一二六金子元彦、九三丹野孝一、選外三渡邊登、二一六鈴木春治、二〇九舟山清一、二〇五會川進、五四佐藤貞一、四七高橋正男、四九吉田儀雄、一六五松田英五二櫻山正平、三金成精一、九大塚正治、志願柳下良男、志願吉田政雄、八二鈴木實、六七鈴木喜平、一九八櫻井清一、八薄葉貞一、一五四根本善文

△山砲—志願舟山政元一〇岩崎庄三、一四白土享、二四久保木忠夫三八根本長蔵、七川角富雄

△鐵道—一九吉田定美二一横田尚友、二二早川喜一

△工兵—一二角田晋男

△野砲—六酒井長良、一〇矢吹秀雄、二三金古正明

△飛行—志願吉田伴三

△輜重—一箭内重利四鈴木守

△輜重特務—三三川村二郎、八島崎己三郎、二一佐々木重德、一四岡部孝平

△補助衛生—二阿部健治

△水兵—一九鈴木貞三一八蓬田光男、一三古關登、二鈴木信光

曙休明けけふ始業
頑張る學童

海に山に淸凉を追つて數々の思ひ出を拾つた學生達の夏休みも過ぎ去つてけふからはまた新らしい學期を迎へた、先學期にだれ氣分であつたものも魂を入れ換へて今學期からはウンと頑張るぞ！と夏に鍛へたすが〳〵しい希望の瞳を輝かせながら登校、先づ校長や受持先生の訓示を受け更に緊張市内各校共一齊に始業式を濟ませた

他の兒童の鑑
平少年團獻金傳達式讀辭大要
平警察署長　八巻胞治郎氏

この事變以來今迄各種の銃後運動を見ましたが平少年團員が團長の指揮の下に一糸亂れざる統制に服し

街頭に 募金運動を行つた儘の汗に濡れ塵にまみれた健兒諸君を只今點檢したとき私は思はず感激の念に打たれました三日間の奮鬪に對し私は心から御苦勞と申上げます、健兒諸君の祖國愛の

氣持は 北支北滿にゐる我が將兵を感應せしめ、一死報國の念に燃えつゝ國防の護りを堅くせしめることだらうと思ひます、私は

國防の 重責を擔つて行かれる勇士諸君の元氣の滿身に溢れて居るのを見て常に心强さを感じてゐる一人であります、之等出征の勇士は諸君方が街頭に示された祖國愛を語る健鬪振りと同樣に村から町から部落から揚つてゐる銃後

後援の 力强い結成に後顧の憂ひを絕つて勇みに勇んで行くのでございます、然も健兒諸君の三日間に亘る活動は平地方の銃後支援に大きな刺戟を與へたもので、この點から見ても非常時局に際して小さな諸君の大きな活動は活きた敎へを

全市民 に垂れたものと考へるのであります健兒諸君はこの立派な行動を爲した精神を忘れることなく第二の國民として學校に於ても又家庭にあつても良き子供として一般子弟の鑑みとなられんことをこの席上から切に希ふのであります。

平市のラヂオ
聽取者が增加
時局重大化の折柄
大々的開拓に努む

仙臺遞信局並に放送局では時局いよ〳〵重大化の折柄この際極力ラヂオの大衆化を圖るべく過般來大童で聽取者開拓に努めてゐたが平市内でも六、七月はそれ〳〵七人を增し八月に至つては轉入十新許可十二、轉出六、廢止十一で純增加十九人といふ增加振りを示し當局者を喜ばしてゐる、なほ現在の市内聽取者加入者口數は千四百七十六人に達してゐる

無屆の聽取を密かに調査

近時ラヂオの普及に伴ひ一般的に聽取者增加の傾向を見せてゐるがこの一面無屆聽取者も相當あるらしくこれ等取締りには各郵便局が當つてゐたが倘手溥なので本月からラヂオ不法施設檢査員が本郡下に配置されることになり今後徹底的に無屆聽取者の調査處罰と料金不納の不良聽取者の解除取締りに當ることゝなつた

けふ來郡した長崎東鐵局長

新任東京鐵道局長長崎惣之助氏は初巡視のため今一日午後四時四十三分着で來平住吉屋本店に宿泊したが明二日は片濱から小名濱をみて湯本町に至り入山、磐城の兩炭礦を視察石川方面に向ふ筈

戰捷祈願
小鍬倉社頭に描く軍國風景

平市縣社小鍬倉神社の「國威宣揚戰捷祈願祭」は既報の如く今一日午前九時から同社前で執行山部神官により嚴かな修祓が行はれ一同心から皇軍の武運長久を祈つたが參列者は市會議員を始め區長軍人家族、其他の有力者約四百名、頗る盛況を呈した倘山部神官は遺家族全部に神符を贈ると

武運長久を磐女祈願
けふ縣社で

磐女は新學期始業式の今日午前十時半から兩縣社で國威宣揚武運長久の祈願祭を行つた

出征遺族無料助產
平產婆會で

平產婆會は出征軍人遺家族のうち貧困者に對し無料助產の需めに應ずる事となつた

慰問袋寄贈　市内

市内二丁目一三根本ツネさん舊城跡一一木村ケイ、同トシさんの三名は今一日各慰問袋一ケ宛を市役所へ寄託した

無免許賣買　植田

植田町大字植田字藤町八半島人姜柏春（三五）は無免許で平區田中判事から古物商違反で略式罰金十圓に處された

商業美術の教育について（六）
平商業學校圖畫教師　齋藤久基

今日の圖畫の教科書を見ると、非常に名畫的な作品に滿ちてゐるものがある。手本としてはよい上にもよいものを載せることが理想である故、權威ある大家の作品を教科書用にすることはよいがその結果として中學生には不可能とも思はれる筆近づき難い感を深くし、似せて而も非なる作品を作らせるのは罪深い。而して圖畫は全く生徒の能力から遠ざからうとしてゐるのも事實である。

生徒をして眞に技術に優れさせようとするのは決して名人大家や天才の作品を模することではなするといふことはよいことには違ひないが、それが直ちに上達の道とはならない。それよりも如何にすれば正確に描き得るか、如何にすれば觀察が銳敏になるか、如何にすれば適宜の表現がなし得るかといふ點にあるので必ずしも難解な筆觸を模することで達せられるものではない。

大家の筆法や表現を眞ちに中等學生に强ひるのは、一丁も泳ぎ得ぬものに數里の遠泳を强ひるとの圖畫教育は全くの無能力を暴露する。實際の技術に於て成績が上らなければ、教師も焦燥に捉へられるが、それよりも生徒は全く失望して、意氣を沮喪する。かくて圖畫は全く緣なき物とならうとするのである。この故に圖畫教育は屢々論議の對象となり、幾多の教育法や教育論が擡頭することになるのである。

即ち我國の圖畫教育界を振返つて見ても、その無定見なる、いづれも圖迷ふものである。

明治五年頃より二十年頃までは鉛筆畫の臨模一點張りであつたのは、無我夢中なる歐風模倣であり、これが毛筆畫萬能に變つたのはその反動と見てよく、漸く明治三十七年文部省の發表せる圖畫教育の調査によつて稍定見を生じた樣に思へるのである。

然しこれとても、描くといふことのみに重心を置かれたものであつて、描くといふことには用具にあつた。

これに飽きたらぬのは造形藝術教育建設の叫びであつて大正三年頃より唱導された『圖畫科の仕事は描くことばかりが能でない』といふのであるが、これは圖畫科の性質を美術に結びつけて、鑑賞を認め、また圖案、手工にも連絡をとつたので一進步である。

然し圖案手工を認めたのは小學校だけであつて中等學校ではいづも無定見なる美術教育に終始し

一分間の默禱
けふ震災記念

市内各中等學校及び各小學校は既報の如く今一日の震災記念日に際し夫々校長や學級擔任の講話等あり當時を偲んで襟を正し各職員は午前十一時五十八分から一分間の默禱を捧げた

暑中半ドン
昨日で打切

平裁判所を始め市内各官衙の暑中半ドンは八月一杯で終り愈々今九月一日から正規の執務時間に復した是れからは平常午後四時迄土曜日は正午迄である

玉手敎諭兼務

平商敎諭玉手利藏氏は新學期を前に昨三十一日行れた中等敎員の異動で磐中の敎授を囑託された

竊盜犯言渡　既報

懲役二年六ケ月を求刑された前科三犯の現金泥東京市荒川區瀧久町生れ目下住居不定元コック吉田忠雄（二二）に係る竊盜事件の判決公判は今一日午前十時から平區で開廷され田中判事から求刑と同じく懲役二年六ケ月を言渡された

コクヨ帳簿
十六穴バインダー
百五十枚綴付
二圓三十錢
（特價賣出中）
ルーズリーフの釘穴が破損せず、開きが十分で非常に書きよいのが特長
特約店　マルトモ書店
電話　一二四
二三四

平市人事

◎出生
△上平窪字八反田七〇國府田忠男氏三女利子さん

◎婚姻
△靜岡縣淸水市下淸水九六濱田正作（二九）氏立町八五橋スミ（二七）さん

JOHK

今晩の部
▼後六、〇〇 子供の時間 連續童話劇「日立ちやんのお手柄」大阪放送童話研究會
▼七、三〇 講演「事變の擴大に處する國民特に帝國在郷軍人會員の覺悟」井上大將
▼後八、〇〇 歌謡曲 つぼみ、徳山璉
▼後九、〇〇 連續講談「軍事探偵鏑崎三郎」貞山

明日の部
▼後九、三〇 時報 ニュース 明日の話題 氣象通報 番組豫告
▼前七、一〇 朝の修養「日本高僧傳、天臺宗山口光圓」
▼前一〇、三〇 家庭連續講座「銃後の家庭を守る婦人覺悟」野上俊夫
▼後〇、〇五 箏曲「秋の言の葉」天笠才壽
▼後〇、二三 國論民歌 松原操
▼後二、〇〇 獻納飛行機命名式實況（羽田東京飛行場中繼）
▼後二、三〇 母の時間「學期はじめの教室から」小川英夫
▼後六、〇〇 連續童話劇「日出ちやんのお手柄」大阪放送童話研究會
▼後六、二五 連續講座「現下の支那」木村增大郎
▼後七、三〇 講演「海外に於ける放送の諸問題」荒川大太郎
▼後八「〇〇 浪花節「伊達如水軒と堀部安兵衛」木村友春
▼後八、三五 長唄「橋辨慶」伊四郎和吉連
▼後九、〇〇 連續講談 貞山

喜多流謡曲と仕舞の
お稽古をお奨め致します
入會隨時
喜多流謡曲仕舞　白土會
平市田町六九

白柄劍風遣

大島多慶夫作
井川洗厓畫
布施長春畫
村瀬春映畫

（[illegible]）

…… 二四二 ……

町奴操縱（七）

惣三郎は長兵衛に會はずに、立派に使命を果し得たことを、心中非常によろこんで、倉皇と暇をつげて花川戸の幡隨院を出た。

權兵衛は惣三郎を入口まで見送つてから、溜り場で首を長くして待つてゐた長五郎と仁兵衛の傍へ戻つて來た。長五郎は[illegible]の[illegible]が、常になく緊張してゐるので、若しや[illegible]の侍と喧嘩でもしたのではないかと眉をひそめた。

『兄哥、どんな[illegible]だつた。元締に會はずに客は歸つたぢやねえか』

と、長五郎は[illegible]かしさうに訊いた。

權兵衛はすこし[illegible]で、金神と[illegible]の二人とは三角形に[illegible]つた。

『元締をわづらはさんでも好いことだつたから、俺らが引受けて歸つてもらつたよ』

と、聞き捨てあつた煙管に[illegible]をつめ始めた。

『一體どんな事だつたんだ』

と、仁兵衛は待ち遠しさうに訊いた。

權兵衛は二人の顔をヂロ〳〵と暫らく見くらべてゐたが

『金神。[illegible]でやつぱり俺ら一[illegible]ぢや[illegible]が[illegible]いが、お前たちの手も借りなくつちやいけねえ仕事だ』

と、低い聲で、方を[illegible]りながら云つた。

『元締に相談しなくつても好い事かい。あとで叱言を[illegible]つちやいけねえからな』

『いや。[illegible]をしねえ方がいゝんだ。つまり俺らが[illegible]にやつたことになり、いざこざがあつても元締の[illegible]にもならねえし、迷惑もかゝらねえ[illegible]さ』

長五郎も仁兵衛も[illegible]くに[illegible]をしてしまつた。そして、喧嘩だなと思つたが、お上から奴に喧嘩を[illegible]んでくる理由はなし、俺たちの手を借りて無頼漢でも打[illegible]るのだらうと考へた。

『喧嘩のことぢやねえか』

と、まづ長五郎は氣短く訊いた。

『同じやうなもんだが……お上の御用で、すこし大[illegible]をやつつけるんだ』

『そいつあ。一寸面白い』

と、喧嘩好きな長五郎は大[illegible]と[illegible]いて膝を乘出して來た。

仁兵衛の凹んで光る眼が、暗がりの猫の眼のやうに鋭く輝つた。

權兵衛は火箸をとつて、灰の上へ何やら書きだした。じつとそれを見守つてゐた長五郎と仁兵衛は互に顔を見合はせたが、思はず[illegible]と笑顔をした。

『どうだい、やつて見ねえか』

と、權兵衛は又低い聲で云ふ。

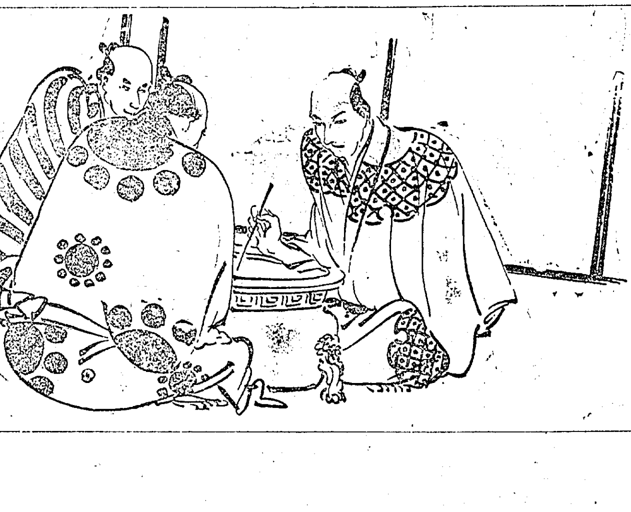
『話がむづかしくつて困つてゐるときだ。一つやらうぢやねえか。お上の御用で侍を叩き斬るんだ。こんな面白い仕事はめつたにやねえや』

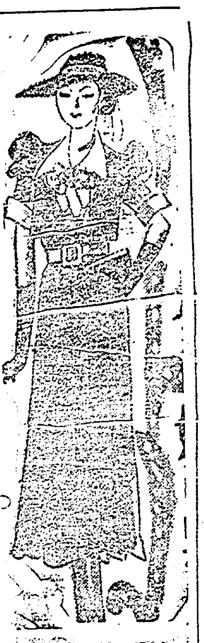
と、長五郎はもう大乘氣であつた。

仁兵衛は少し眉をひそめたが、これも両方に[illegible]を[illegible]つて

『だが[illegible]。唐犬。元締に相談しなくつても大丈夫か』

と[illegible]。





◇味噌をかびない様に貯へるコツ　あつい時ミソのかびを防ぐには味噌の表面を平にならし、表面に白金巾をぴつたりかぶせ、その上に、炒つた米糠をのせておくとカビをふせぐことができます

在滿北支の皇軍將兵へ「慰問袋を送りませう」

＋＋さて何を送つたら喜ばれる？＋＋

その品物と作り方と送り方の心得

酷暑の折柄在滿北支の皇軍將兵の勞苦は大變なものでせう、殊に北支の風雲の急な折柄皇軍將兵の責任は一際と重くなつたわけです、この際感謝と慰問の熱意をこめた慰問袋を送りませうどんな物がよろこばれるか、その送り方等について陸軍當局に注意したいことを聞きました

慰問袋に入れる品物

慰問文（お子さんたちが可愛い、そのまゝの氣持を表はしたもので、なるべく大きい人達の加筆してゐないものがよろこばれるさうです）慰問畫（子供繪及小、女學生たちの作品）名所繪葉書、簡單な娯樂用品圖書、娯樂雜誌、新聞（繪入のもの）等圖書類、罐詰類、菓子類（氷砂糖、角砂糖、甘納豆、キャラメル、ドロップ等でいづれも罐入りのもの）、味付ノリ、[illegible]に堅い罐入りのもの、日ふんどし類、ハンカチ、タオル、石鹸、袋のやうなもの、便せん、封筒、鉛筆、色鉛筆（赤青）手帳、懷中ナイフ（小）、仁丹、寶丹、カオル、メンソラ、トクホン等の懷中藥で罐入りのもの

―◇―

ほかにお氣付きのものは何品でも結構ですが、要するにいたゞいて一番よろこぶのは品物の多寡や高下ではなく、贈るみなさんの熱意です、しかしその中でも慰問文が一番よろこばれます、名刺、寫眞、手紙類、その他記念品として永くのこしておけるものも非常によろこばれますが届くまで相當の時日がかゝりますし、また溫暖や梅雨中につゝみが痛みやすいこともありますから保存に堪へるやう御注意が大切です

―◇―

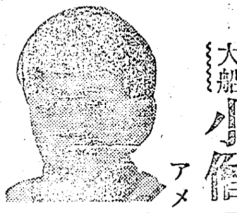
アメをはじめ菓子類を紙つゝみにしては折角の慰問品も、とけたり變質したりして他の袋の品物までよごしてしまふことがあり、また餅類もカビが生えて食べられなくなりますから、お入れにならぬ樣。紙袋に入れたタバコ類も同じ、これらはすべて罐詰やうに罐入りにしてください

包裝と送り先

次にその包裝ですが、慰問袋の袋は御存知の通り手拭かタオル、あるひはさらし（手拭の長さ）類を（いたゞいてから包をといてまた手拭に使へて重寶なのです）を半分に折つてしつかりと縫ひつければ結構です、そしてその上に「慰問袋」と表記し、皆さんの住所氏名をはつきりと書いて下さい、さうでないとお禮狀等をだしたく共出せない場合がありますから、それから送り先は陸軍恤兵係へ持參するか、もしくは郵便小包・鐵道便等で送つてください、さうすると陸軍省では一まとめにして現地へ送ります、あるひは縣役所や役場等におたのみなさい

スターを困らす 大船小僧三羽烏

アメリカ小僧加はる



寫眞―松竹大船にいたづら盛りの者が小僧二人―突貫小僧と爆彈小僧がゐて、スタヂオ内をわが物顏に横行し、あばれまはつてゐる、が、今度新しくアメリカ小僧なる者が加はつて遂に「大船小僧三羽烏」陣を布き、大いにノサうといふ事になつた

寫眞―このアメリカ小僧は横網九才の古谷健男、清水宏監督「戀も忘れて」にデヴュウし、次いで藏谷實監督の「ママの縁談」で腕白大將吉郎の大役に抜てきされて活躍してゐる

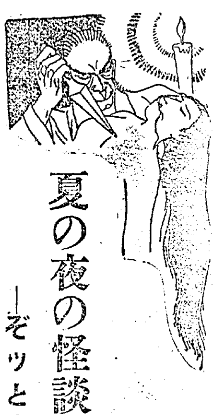
寫眞―アメリカ小僧の由來は、突貫と爆彈が「オイ、アメリカヤロウ」と呼んだのがいかにもピッタリしてゐると云ふので大人連が感心、さつそくこれを採用する事になつたものである

寫眞―このアメリカ小僧も仲々の腕白者であり、さうでなくても惡戯、撮影のいたづらに閉口してゐる大船スター連は今後は益々「小ぞう三羽烏」一隊のばつこにいためつけられる

夏の夜の怪談實話

―ぞッとする因縁話―

―（S生）―



因縁付の部屋

―あやしい男女の正體は？

「今頃は大さわぎでせうね、ほんとに濟まないと思ひますわ、ゆるしてね」

「なアに運命だよ、いやな縁談をして一生を臺なしにするより、好きな女と一緒に死んだ方が倖福だよ」

下谷の山中の夜中の一時、若い二人の男女がこの世の最後の言葉をかはしてゐる。

一夜があけないうちにサアはやく殺して……」

女はさういつて、男の手をとつた。

男は決心して立あがつた、そして女のうしろへまはつて靜かに短刀のさやをはらつた。

「アッ、あなた、う、れ、し、い、ウウン」

「……」

「あなたが、はやく……」

女はドク／＼とふき出る血潮を手でおさへて、つぶやいてゐたが段々聲がなくなつて、やがて最後の息を止めてしまつた。

男は小半刻も呆然としてゐたがやがてザーッと降つて來た雨に我にかへるとパッと立上つた、そして闇の中を氣ちがひのやうに駈けだした。

女のくるしむ聲に怖氣づいて逃げだしたのである。

何處をどう歩いてゐたか、翌日の夕方男はせう然と或る旅館に姿をあらはした。

「お二人樣御案内」

女中の聲に男はハッとしたが、やがて二階の一間に通されて

「お風呂をおめしになりますか、お食事をさきになさいますか」

「ウン疲れてゐるから一風呂はいらう」

「では何卒御一緒に」

男は怪げんな顏を、

「えッ一緒つて俺一人だよ」

「まあ、御冗談ばつかり、奥樣にしかられますわ」

男は「もしかしたら」とおもふとゾーッとした。

五分、十分、突然女中が、

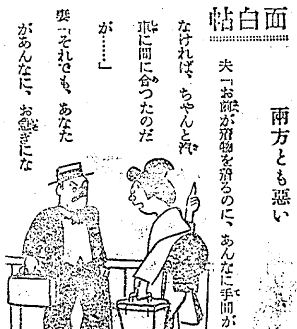
「キヤッ」

と悲鳴を上げてバタ／＼とかけ出した。

青白い顏の女がスーツと男のうしろへまはり、ニタリとわらひながらグツグツと首をしめてゐたのを見たと いふのである。そして男は倒れたまゝ息が絶へてゐた。

面白帖

兩方とも惡い



夫「お前が荷物を揃るのに、あんなに手間がかゝらなければ、ちやんと汽車に間に合つたのだが……」

妻「それでも、あなたがあんなに、お急ぎにならなければ、次の汽車を、こんなに待たなくてもよかつたのですのに……」

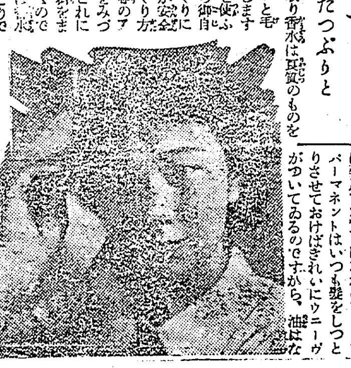
パーマネント

御自分でも手入が出來ます□□□

油はいつもたつぷりと

近頃はパーマネント全盛時代ですが折角パーマネントをかけてもタシヤ／＼にシヤグマのやうになつたのや一ぱい脂垢をためてゐるやうなのはかへつてみにくいものです、パーマネントをかけたらお手入れが肝要で、出來れば髪をおあらひになつた時はセットしてもらふ方がよろしいのですが、不經濟だと思ふ方は御自分で手輕にお手入れが出來ます

なほフケ取り香水は良質のものをえらばないと毛をわるくしますから安物を使ふくらゐなら御自分でおつくりになつた方が安全です、つくり方はごく上等のアルコールをみづで薄め、これに良質の香料をまぜればいゝのです、香料は香水の使ひのこりで結構です、なほ買つてゐるフケ取り香水は以上のほかにレゾルチンとパンショウチンキが入れてあるのです、もしこれらも入れたければ藥局でお買ひになればいゝので、パーマネントはいつも髪をしつとりさせておけばきれいにウエーヴがついてゐるのですから、油はなるべくたくさんおつけ下さい、良質の椿油なら申し分ありません、また洗髪のあとはかわかない中に良質のフケとり香水をつけたあと髪油しとポマードを練つておつけになることです

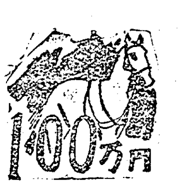


それからウエーヴをおし出すやうにして形づけ、ネットをかけて乾します

なほ御自分でセットなさる時は、セッティングローションを薄くおつけになるとパリ／＼にならずに工合よくゆきます、そしておやすみになる時は髪の方だけでもクリップでとめておけば幾日もきれいにウエーヴがついてゐます、とに角パーマネントはお手入れ次第で經濟的に、いつも美しいお髪でゐられます（スキート美容室林露枝子さんのお話）

○石膏細工のよごれをとるにはメリケン粉を水でどろ／＼にしてこれをぬりつけ、かわいてからやはらかいブラシで粉をおとす。

○蘇鐵はその名のごとく鐵分を取る植物。縫針の折れたのや古い鋼ペン先など幹にさし込んでおくと大きくなる。



○なまこにも骨はある。たゞ長く細い骨でなくこまかい骨片が皮の中に散らばつてゐるので無いやうに見えるのだ。

○英國産サラブレット種は競走馬としてもつとも優秀、從つて値段も高く、最近米國へ賣られた種馬は一頭百萬圓。

護れ太平洋の波

寺島柾史（作）　村瀬春映（畫）

……二四二……

無音飛行機（二）

ホワイトハウスにほど近い、とある廣場で、飛行機をすてたピコルは、そのまゝ、すた／＼と白亞の建物の方へ歩いて行つた。

と、同じく飛行機をおりた一人の男、飛行服を着た、小柄な男が、ピコルのあとについて行つた。

にれの樹林のところで、その男はやつとピコルに追ひついた。

「親方」

と、彼は馴れ／＼しく呼びとめた。

歩きながら、ピコルは「何だ！」とこたへた。ふりかへらうともしない。

「一寸、待つてください」

飛行服を着た男は、ピコルと肩をならべて歩きながら云つた。

「……」

彼は、やつとその男をかへりみた。

「その折かばんを、僕が持ちませう」

「君は、誰だ」

ピコルは、立どまつて、男の容子をじろ／＼みた。

「見らるゝ通り、同じ飛行機にのつてきたものです」

妙な、なまりのある言葉だ。どこかで、きいたことのあるアクセントだ。

「なるほど、あの旅客機の、君は飛行士かい」

「助手です。親方」

「なんだ」

「ひさしぶりぢやありませんか」

男は、いよ／＼馴れ／＼しくよつてくる。不氣味に感じて、身をさけながら、

「だから、誰だと、云つてゐるのだ」

男は、飛行帽をぬいだ。髪の毛が黒い。メガネを外した。瞳も黒い。鼻下のヒゲをむしり取つて、舗道へすてた。

「あッ――」

ピコルは、たぢ／＼となつた。

男はいよ／＼不氣味にわらつて

「おわかりですか」

「おまへは……栗飯原だな」

彼ははげしい目つきをして、ポケットに手を突込んだ。

「よくわかりましたね」

「どうして、あの飛行機にのつてゐたのだ」

「僕は、一と月ほど前から、航空會社に雇はれてゐたのです。つまり、あなたの行動を監視するために……」

「なにおれを監視するために？」

「さうです。兵器王のあなたが、どういふ危險な行爲をなさるかを見守つてゐたのです」

「何のために、おれを監視するのだ」

「だつて、あなたは太平洋の平和を、かきみださうとなさるからです」

「……」

「きのふ、ホテル「日本」が爆破したゝめに、片腕をうしなつたやうに落膽したあんたが、その復讐……といふよりか、太平洋戰爭をこのどさくさまぎれにおこして、一擧に利得を得ようと、暗躍される。あなたの氣持がよくわかります」

「わかつたら、それでいゝではないか」

「ところが、いけないのです。新聞は、みんなハワイ運河の爆破未遂事件も、こんどの地下の研究所の爆破事件も、みんな、日本が背後にゐて糸を引いてゐると、騒ぎ立てゝゐるぢやありませんか」

「それが、事實のやうだ」

「いや、決して……日本は、こんどの二つの事件には、決して關係してゐません。日本人は正義を愛する民族です。平和を愛する民族です。みだりにことを構へて、戰をする樣なことはいたしません」

「だが……」

「いや、日本人はアメリカ合衆國と共に手をにぎり合つて、世界人類永遠の平和のために全力をつくす事のできる民族です。あなたは日本民族を誤解してゐます」

「そんなことはどうでもいゝ、おれは金儲けが好きなんだ」

ピコルは歩きだした。

「お待ちなさい」

特許新洗劑
モノゲン
白セルのズボン人絹肌着のお洗濯に
毛糸、毛織物を縮めず、傷めず、人絹、ステープル製品は手早に揉まずに洗へ、白地は眞白く色物は落さず濯ぎは手輕にお洗濯出來る新洗濯劑です
藥店にあり　一・二〇　・五〇　・三五
ゲンブマルセール石鹸本舗
第一工業製藥株式會社
特約店
平市二丁目
中野洋品店
電話五三番

平市田町
市原醫院
電話一一四番
市原卯太郎
（毎日午後二時ヨリ九時マデ）市原陸郎
市原三三男
內科、小兒科、一般外科、內臟外科、皮膚科、婦人科、花柳病

食事 喫茶 酒場を兼ねた
レストラン
サロン
平市田町
電三五二

耳鼻 咽喉
科專門
大和田醫院
平市南町一六（電話一七〇番）

眼鏡專門
正確な眼鏡
自覺視力試驗の設備が御座ひます。御自由に御試し下さい。
各眼科處方調製
玉屋眼鏡店
平市二丁目

外科一般　レントゲン科
內臟外科　泌尿器科
北川外科
平市新川町二七（電話四六四番）
醫學博士　北川芳夫
技師　小林良次
◎晝夜診療
イツデモ入院出來マス
（血液檢査毎日）

お醬油は……ヤマフル
醬油 味噌
たひら正宗
鰹節食料品
釀造元
鹽屋
福島縣平市
電話一〇 二七番
明治生命磐城代理店
山崎與三郎

胃腸を害ね或は下痢をしたり或は三日も四日も便通がなくて頭痛を覺える御方はキヽメの早い
胃腸藥 靈効散 を御試し下さい
胃腸病、心臟病、腦、痰、適應藥
三年五年と患ふ慢性胃腸病が全快した人が澤山あります御望の方には見本一日分を差上げますから御遠慮なく御來局下さい
平市古鍛冶町一〇縣社ノ下
處方箋調劑所
阿康藥局
電話四四
振替口座東京三〇〇五
定價 五十錢 八日分 壹圓 廿日分
御子樣方には飲み易い小兒靈効散があります。

（夜間診療）
胃腸 性病 專門
內科
胃腸病科
花柳病科
性病科
皮膚科
松村醫院（胃腸 性病）
平市南町（電一〇七番）

磐城セメント會社特約店
久
釜屋商店
磐城平市五丁目
電話九・九九
□良品廉賣に勝る商略なし
□確實敏捷は久の生命なり

平病院（電六四一番）
平市警察署側（元共濟病院跡）
院長 醫學博士 鈴木定藏
內科 小兒科　院長 醫學博士 鈴木定藏
産婦人科 一般外科　部長 醫學士 池谷宗三郎
皮膚泌尿器科 レントゲン科　部長 醫學博士 鈴木定藏
物理的療法科　技師 岡田重德
藥劑科　部長 藥劑師 吉本孝平
◎診療時間 毎日午前八時ヨリ午後九時迄（夜間診療ニ從事ス）（急患ハ此ノ限リニアラズ）
往診隨時
病室完備……入院隨時【自炊ノ便アリ】
◎入院料 特等―貳圓 一等―壹圓五拾錢 二等―壹圓參拾錢